

Smile

～ファイト黒崎で絆を深めよう～



第50号 令和3年9月2日（木）

教科担任制、5年生の先生方にインタビュー！ どのような思い出授業を進めていますか？



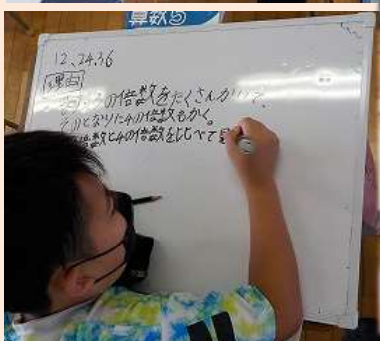
こちらは5年3組、担任で担当の渡辺先生に聞きました。

「感染予防を求められる中ではありますが、子どもたちが体験を通して学習を身につけることができるような工夫をしています。そのために 消毒の徹底や器具の正しい使いかたなど 子どもたちが気をつけなければいけないことを常に伝えています。班活動が多い授業だからこそ、ひとりひとりが活動できるように タブレットを使い、活用できる内容にしています。



5年2組では担任で担当の村田先生が算数科の授業を進めていました。

「今まで同学習した内容を使って 自分の考えを組み立てながら 求め方を説明することができるようにしています。2学期の初めにも伝えていますが、間違えてもいいからとにかく自分の言葉を使って書きましようと言っています。図や表とかを使いながら 自分の考えを表現してみようというのを目標に取り組んでいます。」





国語科「どちらを選びますか？」

5年1組では担任でもあり、担当の安達先生が体全体を使って授業を進めています。

「2つの立場から物事を考えて、色々なものの見方を考えられるようになってほしいです。みんなで考えて友達の意見を聞いて『なるほど』っていう思ってくれる子どもがたくさんいて嬉しかったです。」
安達先生の熱意が伝わってきます。



ICTは学習を応援するパートナー！



常識にとらわれない学習スタイルを！

6年生の理科「月と太陽」ではボールを月と見立てて満ち欠けを観察しました。

感染状況を考慮し、思い切って体育館へ！持っていくものは、タブレットと水筒のみ。子ども達は、送られてきた資料を基にタブレット上で考えをまとめます。



その後、グループ学習を始めました。何せ広い体育館で、同じグループの友達がどこにいるのやら…。しかし、タブレット上では、友達と考えをシェアすることができました。自宅で学習する子どもも参加することができました。

コロナ禍は、新たな発見をする機会にもなります。新しいスタイルの学習方法を構築し、子ども達のためになるよう、今後も模索していきます。

その後、実際に様々な角度から月を観察しました。「お、すごい！三日月だ。」

離れたところからみると、本当に三日月に見えビックリ！すぐさま、その様子をタブレットに映しました。

もちろん、オンラインで参加している子ども達にも、ライブ中継！よくわかったようです。

